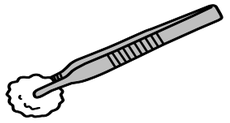
# 骨軟部腫瘍切除術（下肢）を受けられる患者さんへ

主治医（　　）　受け持ち看護師（　　）　説明看護師（　　）

| 経過 | 手術前日 | 手術当日（手術前） | 手術当日（手術後） | 手術後１日目 | 手術後<br>２～６日目 | 手術後<br>７日目～退院 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日付 | ／　（　） | ／　（　） | ／　（　） | ／　（　） | ／　（　） | ／　（　）～退院 |
| 援助目標 | ・　入院生活について理解できるよう援助いたします。<br>・　不安が最小限で過ごせるよう援助いたします。<br>・　手術に対する理解ができ、術前の準備が整うよう援助いたします。 | | ・苦痛が最小限で過ごせるよう援助いたします。<br>・合併症なく経過できるよう援助いたします。 | | | |
| 処置 | ・場合によっては手術部位の毛を剃ります。 | ・手術室へ入る前に手術衣に着替えます。（肌着は着用しませんが、パンツは着用していきます。）<br>・手術用の弾性ストッキングを履いていただきます。 | ・痛みのある場合は点滴、坐薬などで対処します。<br>・術後４時間は酸素吸入を行います。<br>・心電図モニターを装着し、頻回に血圧や体温測定を行います。就寝前までに問題がなければ心電図モニターを外します。<br>・血栓を予防する機械を足に装着する場合があります。<br>・手術の内容によっては、過剰な血液を出す管が傷口に入っています。 | ・歩行が出来ればストッキングを外します。<br>・主治医が傷口の消毒を行います。<br>・主治医の指示があれば傷口の管を抜きます。 | ・必要に応じて傷口の消毒を行います。<br> | |
| 薬剤 | ・常用しているお薬がありましたらお知らせください。<br>・寝る前に下剤を内服していただきます。<br>・緊張して眠れない方は安定剤を用意していますのでお伝えください。 | ・１０時以降に手術室へ行かれる予定の方は朝から点滴をします。<br> | ・点滴をしています。夕食が半分以上入れば点滴は終了します。<br>・主治医の指示により、常用しているお薬を再開します。<br>・鎮痛剤を処方いたします。 | ・食事が入らない場合は点滴を継続します。 | ・退院時に必要なお薬があれば、主治医へ依頼しますのでお知らせ下さい。<br>緊急の処方の場合は退院に間に合わない事がありますので、退院の前日までに看護師へ伝えて下さい。 | |
| 検査 | ・必要に応じてあります。 | ・特にありません。 | | ・朝、採血があります。 | ・必要に応じてあります。 | |
| 安静度 | ・特に制限はありません。 | ・お部屋でお待ちください。 | ・術後４時間は絶対安静です。その後の安静時間は手術の内容によって変わりますので、看護師が説明を行います。 | ・主治医の許可があれば看護師の介助のもと歩行ができます。 | | |
| 食事 | ・通常の食事が夕食まで食べられます。夕食以降は絶食です。 | ・食事はできません。飲水については、麻酔医が指示した時間までは飲水できます。 | ・お腹が動くことを確認できたら、飲水できます。<br>・状況に応じて夕食から食事が再開になります。 | ・特に制限はありません。<br> | | |
| 清潔 | ・手術部位の毛を剃った後にシャワー浴をします。 | ・シャワー浴はできません。 | ・汗などが多い場合は体を拭きます。 | ・傷口の管が入っている場合は体拭きをします。<br>管が抜けていればシャワー浴ができます。 | | |
| 排泄 | ・特に制限はありません。 | ・排便がなければ朝、浣腸をします。 | ・手術の内容によっては、尿を出す管が尿道に入っています。 | ・特に制限はありません。 | | |
| 説明 | ・外来で説明を受けていない場合は医師より手術の説明を行います。<br>・看護師が入院生活や手術時（必要物品）の説明を行います。<br>・麻酔科医と手術室の看護師の訪問があります。 | ・手術室へは歩いて行きます。 | ・主治医より手術後の説明があります。<br>・手術中ご家族の方は３階の家族待合室でおまちください。手術が終わり次第ご連絡します。 | ・痛みや出血がある場合は看護師にお知らせ下さい。<br>・その他気になる事があれば看護師へお伝え下さい。<br> | | |

以上はあくまでも標準的なものであり、変更があれば随時お知らせします。

九州がんセンター　整形外科　２０２１．０３